

第1回 川辺川の流水型ダムに係る環境保全対策 アドバイザー会議

説明資料 【川辺川アカデミアの取組】

令和7年6月13日



国土交通省 九州地方整備局 川辺川ダム砂防事務所



熊本県 河川課

川辺川での学びや利活用に関する背景

- 川辺川では、環境影響評価等に先立ち、長期間に渡って豊富な環境調査データを保有しており、工事の影響回避等に活用されている一方で、事業者や専門家以外がこれらの貴重なデータを活用する機会が少ない。
- 一方で、地域で暮らす方々は、水質18年連続日本一を達成するなど川辺川の豊かな自然環境の魅力を観光や生業等の経済循環や子供たちへの学習に活かし、地域を知り愛着を持つこと、この豊かな自然を将来に渡って残していくことを期待されている。

豊富な環境データ



事業者や専門家の
活用がほとんど



川辺川に生息する様々な生物



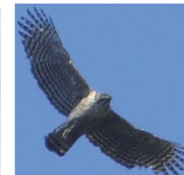
アユ



サクラマス(ヤマメ)



カワセミ

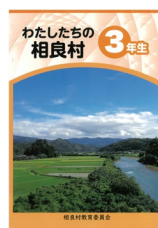


クマタカ

学校教育での体験学習への活用



市民や子供と協働できる簡易な調査の例



調査実施イメージ (出典: 国土地院 国土調査実地調査)

川辺川アカデミアについて

○そこで、人材育成や学びをキーワードに地域（住民・民間事業者）・学識者・行政（管理者）が協力し、川辺川ならではの環境を活かしてハード・ソフト両面から持続的に取り組む緩やかな活動（プラットフォーム）として、「川辺川アカデミア」をスタート。

川辺川アカデミアの取組イメージ

川辺川の豊かな 自然環境 豊富な環境データ

- 全国でも特に良好な水質・美しい景観が残存（18年連続水質日本一）
- S51年以降の網羅的・貴重な環境データが豊富に存在

地域・学識者・
行政が協力



環境データ、 フィールドを活用した 体験等

- 学校教育と連携した川辺川や自然環境を題材とした学習プログラム・ツールの作成
- 川辺川をフィールドにした環境教育の実施（安全に利活用できる場の整備）
- 学識者や専門家による科学的な知見を川辺川に還元

持続的に
取り組む



郷土愛の醸成 人材育成

- 川辺川を深く知り、ふるさとへの愛着、地域に精通した人材の育成
- 川辺川の豊かな自然環境の魅力を将来に継承



水生生物調査



川辺川の風景



小学校の教科書



水辺の安全利用

- 川辺川（水辺）の自然豊かなフィールドを利用した体験活動や学びを進めるにあたり、地域住民や学校関係者等へのヒアリングや合同現地調査を行い、ニーズの把握を行った。
- また、イベント開催時のアンケートやスタッフの振り返り、先例地調査の結果等も踏まえて簡易な整備など、すぐに出来ることから取り組んでいる。

川辺川の地域イベントに参加した方々の声

保護者

- 子どもたちの目がキラキラしていた
- 川遊びは子どもたちに重要だと感じた
- 知らないことばかりで親も勉強になった
- 子どもが川で遊ぶ機会が少ないので川遊びの企画は嬉しい

- 普段の川を違った見方ができて良かった
- 川辺川の水がきれいなことをはじめて知った
- もしものときに役に立つ

子供

- また川遊びイベントがあったら参加したい
- 川で遊んでみて楽しかった
- 生き物のことが知れて良かった
- 川をきれいにするためごみのポイ捨てはしないようにしようと思った
- 川辺川がきれいなことをはじめて知った

教育委員会・先生

- 昔と比べて川との関わり方が変わってしまった
- 子ども、親も川で遊ぶ機会が減ってきている
- 現地に足を運んで体験したほうが教育面でも良い
- 川での教育の取り組みは学校教育面で良いと思う

川辺川アカデミアの取組

- ・川辺川、自然環境に関する様々な知見や情報の提供
- ・環境教育の実施
- ・川辺川を活用した環境教育プログラムの作成（防災教育、生物調査、水質調査等）
- ・川辺川や自然環境を知るための学習ツールの作成

マッチング

地域と連携した学びにより期待できること

- ・学習意欲の向上（探究心・向上心）
- ・授業科目の深い理解
- ・環境や防災への関心
- ・心身の健全な成長
- ・郷土愛の醸成

子供

- ・地域の資源の学習への活用
- ・地域人材の活躍の場・世代間交流の機会の創出
- ・地域の魅力向上・PR

地域

- ・授業準備に係る負担軽減
- ・教育面で取り組みたい領域のサポート
- ・授業内容の定着
- ・地域人材との交流の円滑化

先生

- 令和6年度から「川辺川アカデミア」の取組を開始し、五木村、相良村、人吉市の小中学生等を対象に川辺川をフィールドとした体験学習（探求学習）を実施。
- 令和7年度は、学校教育とも連携しながら年間を通した発展的な学習を展開中。

①学校教育と連携した体験学習（小中学校）

実施日	項目	環境教育の場所	環境教育の内容	参加者	企画運営・協力者
2025.3.14	相良中学校 1・2年生（理科）	相良中学校体育館	中学生が自ら川辺川で学ぶ授業を考えて企画・発表（WS形式）	生徒約60名	主催：相良中学校 協力：国交省・相良村、熊本県
2025.5.13	相良北小学校 4・5年生（総合学習）	相良村： 川辺川（廻り地区）	初夏の自然の観察、川の生物採集・分類・水質判定・地図の見方等	生徒2名	主催：相良北小学校 協力：国交省、熊本県
2025.6.3	相良中学校 1・2・3年生 （総合学習：事前）	相良中学校 1・2年生：体育館 3年生：教室	学習計画づくり、川辺川と人の暮らしの関わりの探求、いかだ作り計画（3年生）等	生徒96名	主催：相良中学校 協力：国交省・相良村森林組合
2025.6中旬 予定	五木東小学校	五木東小学校	模型を使った学習 流水型ダム役割や砂防堰堤の役割	生徒24名	主催：国交省
2025.6中旬 予定	五木中学校・人吉高校五木分校	人吉中学校	模型を使った学習 流水型ダム役割や砂防堰堤の役割	生徒33名	主催：国交省
2025.6下旬 予定	相良南小学校 3年生（総合学習）	相良村： 川辺川（廻り地区）	初夏の自然の観察、川の生物採集・分類・水質判定・地図の見方等	生徒29名	主催：相良南小学校 協力：国交省・相良村、熊本県
2025.7上旬 予定	相良中学校 1・2・3年生 （総合学習：現地体験）	相良村： 川辺川（廻り地区）	水辺の安全利用、カヌー・サップ体験、いかだ製作、川の生物・水質・川の流れなど	生徒96名	主催：相良中学校 協力：国交省・相良村、熊本県、民間事業者



グループワーク



成果発表



集合写真



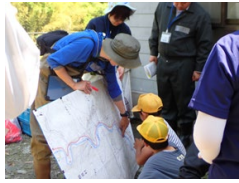
事前学習（座学）



水生生物採集



水生生物の分類



地図の見方・川の地形

②地域が主催するイベントでの体験活動

実施日	項目	環境教育の場所	環境教育の内容	参加者	企画運営・協力者
2024.8.24	川辺川で学ぼう！2024	五木村：五木小川 相良村：川辺川（柳瀬地区）	安全な川遊び講習・魚の解説・水生生物調査	27名 （人吉球磨地域）	主催：国交省・熊本県 協力：熊本大学・相良村ほか
2024.9.8	三日月川フェス	五木村：五木小川 相良村：室内（増水の影響）	防災ドア実験・室内での水質実験・クイズ・生物かるた等	45名 （人吉球磨地域）	主催：民間事業者 協力：国交省
2024.9.28-29	川の茶会2024	相良村：川辺川（廻り地区）	川探検（生きもの採集(ガサガサ)・水生生物調査）	約50名 （人吉球磨地域・その他）	主催：相良村・観光協会 協力：国交省・熊本県・民間事業者
2025.7中旬 予定	相良南小学校 3年生（PTA行事）	相良村：川辺川（廻り地区）	川の生物・水質・川の流れなど	生徒74名、保護者	主催：相良南小学校3学年PTA 協力：国交省・県熊本県・相良村
2025.7下旬 予定	三日月チャレンジツアー	五木村：川辺川（頭地地区） 相良村：川辺川（柳瀬地区）	安全な川遊び講習・水生生物調査ほか	30名程度	主催：民間事業者 協力：国交省ほか



水難体験



生物採集（ガサガサ）



魚との触れ合い



水質調査（透視度）



水質調査（パックテスト）



森林での体験ゲーム



サップ体験



浸水ドア実験



水生生物かるた



川辺川クイズ

- 川辺川(水辺)での体験活動を行う場合は、安全な利活用が出来ることが前提。
- 利活用の可能性がある候補地を地域の方々と協力して調査を行い、課題や利活用案を検討中。
- さらなる安全利用や使いやすさ向上のため、体験学習や地域イベント等で積極的に利用し、課題の把握や改善につなげている。

地域の方々との合同現地踏査



地域のことを良く知る住民、役場職員と一緒に現地調査を実施
魚釣りのポイントであるが、川に下りる階段がない等の課題を共有



現地での試行や工夫の取組



石を並べて流れをつくる体験



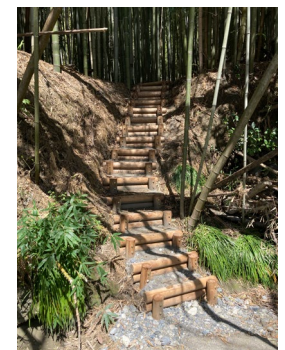
手作りのステップ&プール



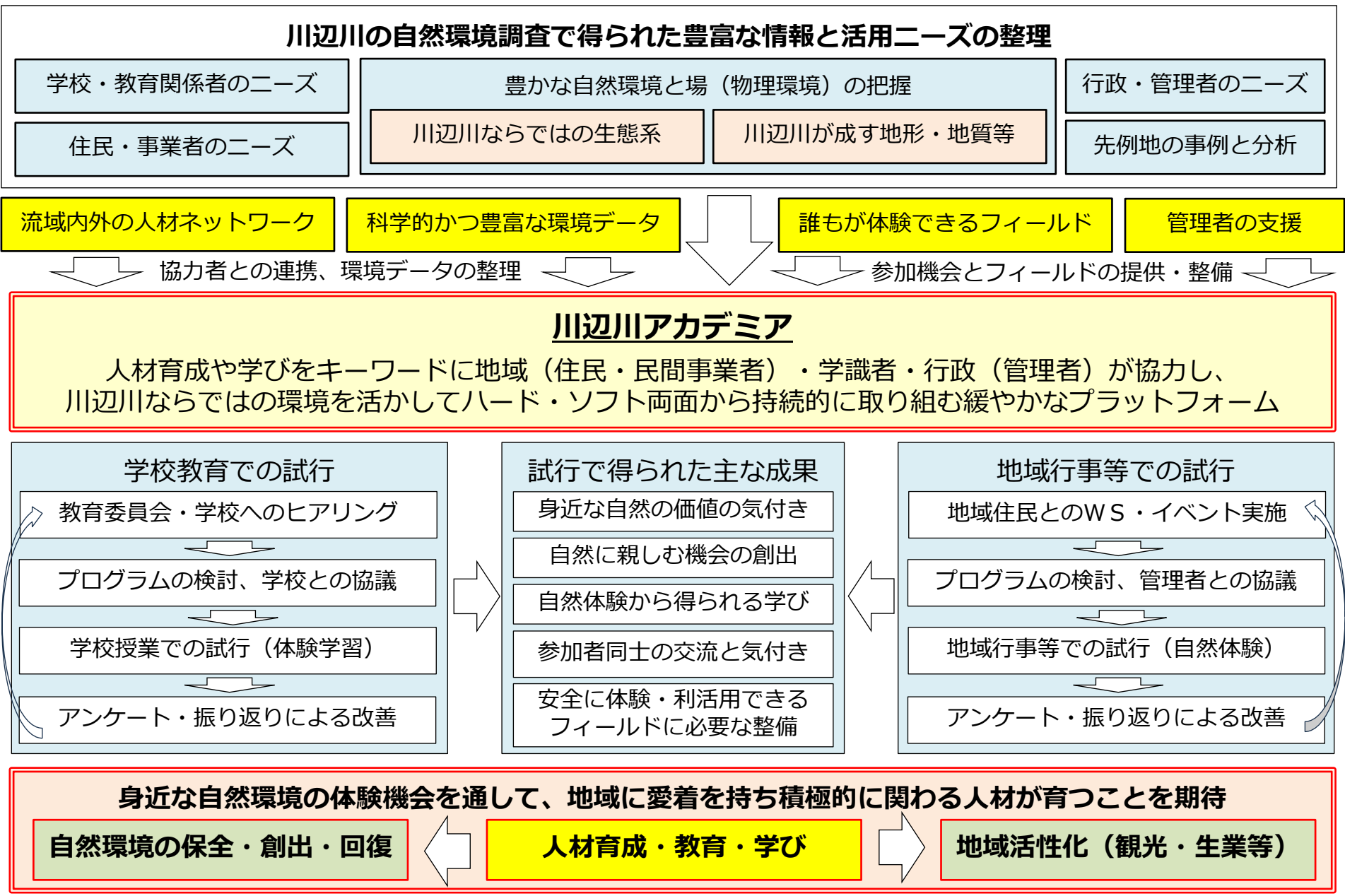
村民でもその地域周辺の方しか知らないようなスポットを確認
今後の利活用策について意見交換



安全に下りるための仮設階段の設置



新たに整備された階段



地域の魅力向上や担い手育成、自然環境の保全・創出・回復を目指す上での主な課題と必要な取組

少子高齢化の進行・人口減少

川辺川流域の豊かな自然環境と場（物理環境）の保全・回復

歴史・文化等の伝承

流水型ダム・河川等の整備

川辺川ならではの生態系

川辺川が成す地形・地質等

地域の生業・経済循環

川辺川アカデミアを通して関係者が協力して行う人材育成・学びの取組

これまでの取組：環境教育、体験学習、実地研修等の実践と改善

小中学校での体験学習



地域イベントでの体験会



行政職員・管理者の勉強会



先例地の視察・意見交換



取組の成果（ソフト）

関心醸成・意識向上

成功体験の共有

地域特性の理解

気づき・アイデア創出

組織間の連携強化

魅力の発見・発掘

取組の成果（ハード）

自然環境の保全・創出

治水機能の向上と
環境保全や利活用
との両立

安全な利活用拠点

今後の取組：ノウハウの蓄積と人材育成、人材や技術・学びの成果を地域に還元する仕組みづくり

環境保全対策と教育の連携

- ・工事予定箇所の合同調査
- ・生物の避難救出活動 等

地域主体の利活用の推進

- ・地域イベントでの活用
- ・体験学習・観察会 等

川辺川ブランド維持・向上

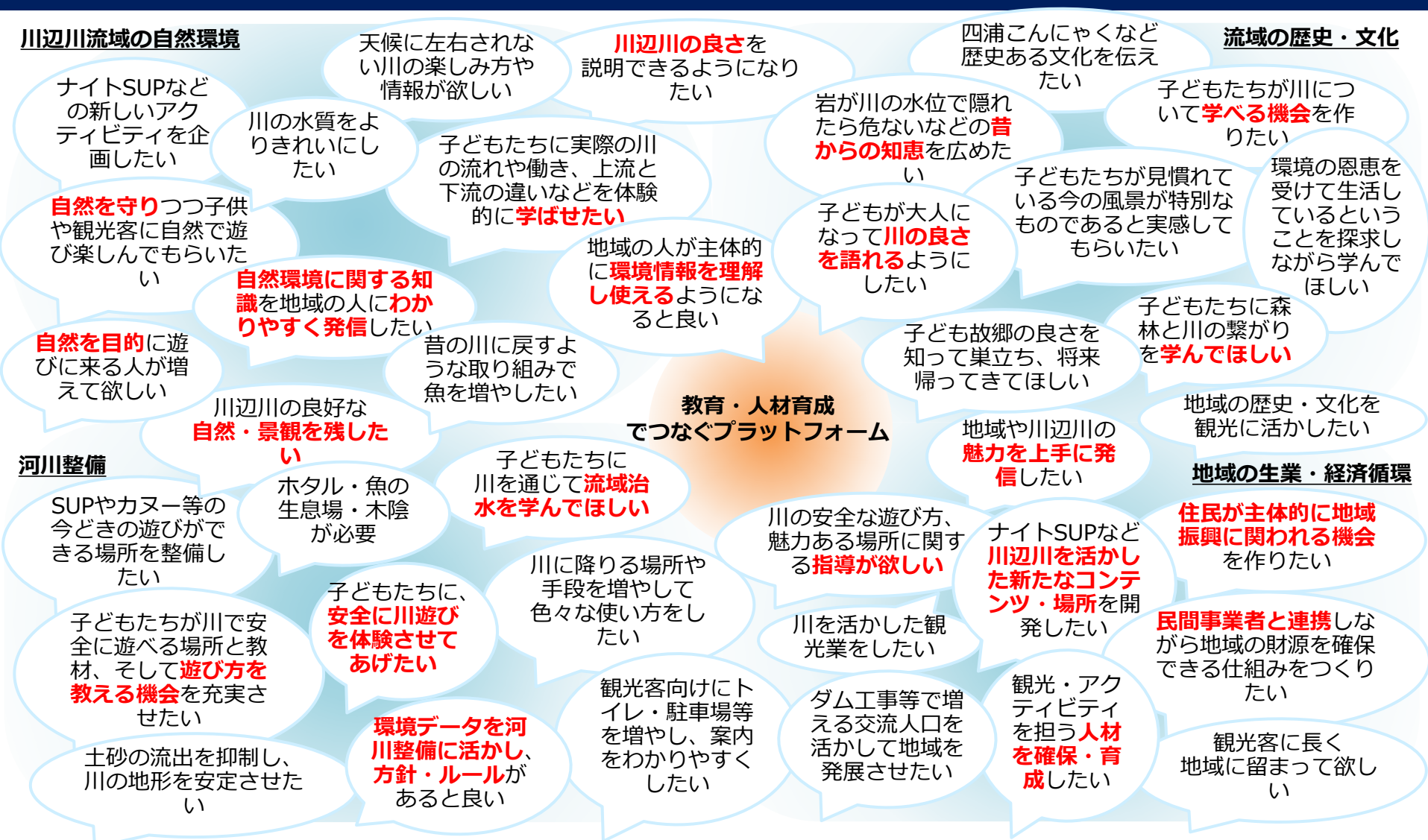
- ・川辺川由来の特産品開発
- ・付加価値の科学的実証等

広報・情報発信の拡大

- ・広報ツールの作成と活用
- ・活動サポーター募集 等

【参考】川辺川アカデミアのこれまでの主な取組（ニーズの把握）

9



地域から求められている声

- 地域住民や民間事業者と連携して地域の豊かな自然環境を保全しつつ、川を活かした観光振興や産業育成により、地域経済の活性化を図りたい。
- 安全な水遊びや自然体験、地域の歴史・文化を学ぶ機会を通じて、地域や川辺川の魅力・知識を次世代を担う人材に継承していきたい。